

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道385号 五ヶ山ダム付替道路	事業区分	一般国道	事業主体	福岡県
起終点	<small>ふくおかけんちくしゅくんなかがわまちおおあさごかやま</small> 自：福岡県筑紫郡那珂川町大字五ヶ山 <small>ふくおかけんちくしゅくんなかがわまちおおあさごかやま</small> 至：福岡県筑紫郡那珂川町大字五ヶ山			延長	3.5 km

## 事業概要

一般国道385号は、福岡県柳川市を起点とし、福岡県福岡市に至る延長約60kmの幹線道路である。五ヶ山ダム付替道路は、五ヶ山ダム建設事業に伴う付替道路とあわせ未改良区間の解消を目的とした延長約3.5kmの2車線道路である。

## 事業の目的、必要性

本区間は五ヶ山ダム建設工事に伴う付替道路であるが、佐賀県が行う東脊振バイパス事業と連携し、一体的な整備を行うものである。

全体事業費	7億円		計画交通量	5,900台/日
費用便益比	B/C	総費用	総便益	基準年
	1.9	8億円 事業費：6億円 維持管理費：3億円	1.5億円 走行時間短縮便益：4億円 走行費用減少便益：8億円 交通事故減少便益：2億円	平成15年

## 事業の効果等

- ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車すれ違い困難区間を解消する）
  - ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される）
- 他4項目に該当（定量的評価項目を含む）

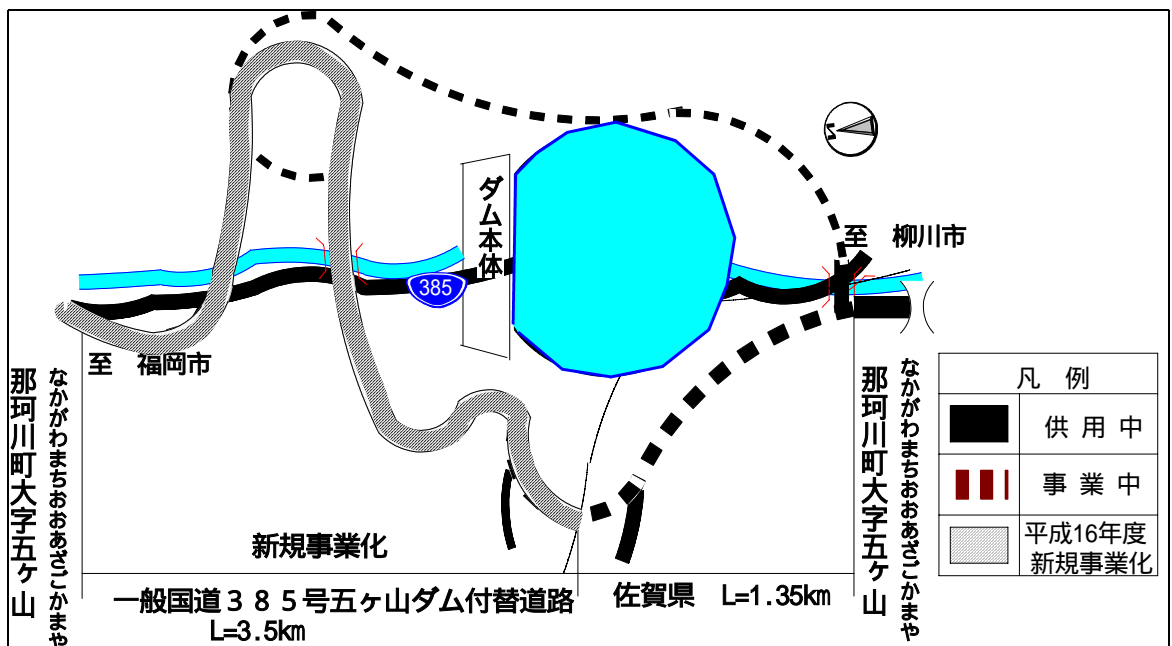
## 関係する地方公共団体等の意見

五ヶ山ダムは、異常湧水時において大きな効果を発揮するダムとして期待されており、福岡市をはじめとする8市13町1村の首長で構成される福岡都市圏広域行政推進協議会より五ヶ山ダムの早期完成の要望を平成16年1月に受けている。

また、平成15年5月に水源地対策特別措置法のダム指定を受けているダムであり、水源地域整備計画の中で国道整備に関する要望が、地元町村からあがっている。

参考：損失補償基準調印式（H14.12.14）

## 事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。